

《担当者名》白石 淳 jun-jun@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

前半は教育の歴史や思想、教育の基本的概念・理念を、後半は学習指導をする際に必要な教育の方法を学修する。

【学修目標】

この授業は、将来教職に就く志しを持った大学院生に対し行います。授業終了後には、次のことができるようになっているはずです。また、そのようになるように自らも努力してください。

- (1)教育の基本的概念、教育の目的等を理解し、それを自分の言葉で説明することができる。
- (2)教育の方法に関する基礎的な知識・技能が身に付き、授業を展開することができるようになる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	教育の基本概念	『教育はなぜ必要なのか、学生から「退学したい」と申し出があったらどのように言うのか』 (1)はじめに(授業・自己紹介を含む) (2)教育の概念・必要性 (3)ライフストーリーと学習 (4)EDUCATION (5)教育(自分の)哲学を考える重要性	白石 淳
2	教育の必要性	『ひとはなぜ学ぶのか、天職の意味はなにか、大学と専門学校との違いは』 (1)教育の必要性 (2)義務としての教育 (3)天職の意味(専門職、準専門職、専門士、資格)	白石 淳
3	教育の思想	『発達・成長を促すポイントはなにか』 (1)子供の発見 (2)フレーベルの教育思想 (3)モンテッソーリの教育思想 (4)環境の重要性	白石 淳
4	日本の教育の歴史	『戦前と戦後の(教育)違いはなにか』 (1)学校制度の始まり (2)戦前の教育の特徴 (3)戦後の教育の特徴	白石 淳
5	教育を受ける権利と教育基本法	『教育の権利とはなにか、権利とはなにか』 (1)教育を受ける権利 (2)教育基本法 (3)権利 (4)権利と義務	白石 淳
6	北海道の学校の特徴	『北海道の教育の特徴はなにか、選ばれる学校とは』 (1)北海道の人口、限界集落 (2)北海道の学校の特徴 (3)高校の学習内容 (4)高校生の進路と選ばれる学校、学校づくり	白石 淳
7	学校における危機管理	『(自分を)守るためにはどうすればよいのか』 (1)事前、事後 (2)因果関係 (3)民法(不法行為、債務不履行)、 刑法(業務上過失)、 国家賠償法(瑕疵、作為・不作為) (4)ハインリッヒの法則 (5)なぜ繰り返されるのか	白石 淳

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
8	授業を構成する要件	『学習塾と小学校、大学との目標の違いはなにか』 (1) 構成する要件 (目標、教材、学生、教員、指導案) (2) 学生集団(集団圧力、学級カースト) (3) DP、CP、シラバス (4) PDOAサイクル (5) 第三者評価	白石 淳
9	授業運営の工夫(指導案)	『90分の授業は、学生は集中できるのか』 (1) 年間指導計画(シラバス) (2) 初回の授業で何を話すか (3) 90分間の流れ (導入、展開、まとめ、評価(ルブリック評価))	白石 淳
10	主体的・対話的で深い学びの授業	『授業をしない塾はなにをやるのか、主体的な学びをすすめるためにはどうしたらよいのか』 (1) 主体的・対話的(学生、教員、偉人他)な深い学びの意味 (2) 生きる力(課題解決能力) (3) アクティブ・ラーニング	白石 淳
11	教材の工夫	『欠席しない授業にするためにはどのような工夫が必要か、予習・復習をさせるための方法は』 (1) 学生の実態 (2) 教材・ICT (3) 発問、課題の意味 (4) 自分はどのような授業がしたいのか	白石 淳
12	授業の実際(1)	『授業が上手(下手)な先生はどこが違うのか』 (1) 上手(下手)な先生の授業 (2) 指導案の作成	白石 淳
13	授業の実際(2)	『授業をつくる』 (1) 指導案の作成 (2) 授業をする	白石 淳
14	教員の職務	『自分の得意分野はなにか』 (1) 得意(アピールできる)分野(教育、研究) (2) チーム学校 (3) 教員の採用	白石 淳
15	まとめ	今までの授業を振り返る	白石 淳

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

取り組み状況(課題、自己評価他) 100%

【参考書】

大学教員準備講座

大学教員のための授業方法とデザイン

【学修の準備】

予習、復習：授業時に指示します。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

本科目の内容は、高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎を修得するというリハビリテーション科学専攻博士前期(修士)課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

高等学校教諭

【実務経験を活かした教育内容】

高等学校での教員としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な内容を含みながら講義を行う。